

地面に落ちたごみをくわえるシカ＝
6月、奈良市の奈良公園

レジ袋誤食、シカ衰弱死

奈良 観光客マナー低下



国の天然記念物に指定されている奈良のシカがレジ袋などを誤って食べ、衰弱して死ぬケースが相次いでいる。奈良の鹿愛護会によると、今年3月以降に死んだ14頭のうち、9頭の胃袋から大量のレジ袋などが見つかった。鹿せんべい以外の食べ物を与えるといった観光客のマナー低下が原因とみられる。県も実態把握に乗り出すほか、看板にイラストなどを用いて、注意喚起する方針だ。

胃からひも状の塊4.3キロ

死んだシカ9頭の胃袋からは、ひも状になって絡まったレジ袋や菓子袋などが見つかり、最大で4・3キロあった。

と、シカは食べ物が入っていると誤って袋ごと食べた、落ちていた菓子袋を、おいで食べ物と勘違いしてしまったりする。

は、触ると骨を感じるほどやせ細っていた。消化できる鹿せんべい以外の食べ物を絶対に与えないでほしい」と訴える。

同会の丸子理恵獣医師によると、人がレジ袋から菓子などを取り出して与える

反すう動物のシカの主食は草などだが、四つある胃の第1胃が異物でいっぱいになると、消化できないだけでなく、排出もできない。

奈良の鹿愛護会は、シカが誤食しないよう定期的に巡回。今月10日には、シカのごみ誤食を防ぐための清掃イベント「クリーンアップならディアパーク2019」が行われた。同県の荒井正吾知事も6月26日の県議会で「実態把握に努めたい」と表明した。

その結果、栄養が十分に取れなくなり、栄養失調や免

県は鹿せんべい以外の食べ物を与えないよう呼び掛ける外国語表記の看板を設置しているが、さらに分かりやすくイラストで説明するなどの対策を取りたいとしている。



死んだシカの胃から見つかったレジ袋などの塊
(奈良の鹿愛護会提供)